

【資料】

1 真庭市図書館基本計画策定委員会設置規程

真庭市図書館基本計画策定委員会設置規程

(設置)

第1条 真庭市図書館基本計画(以下「計画」という。)を策定するに当たり真庭市図書館基本計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 計画の策定に関し、意見を表明すること。
- (2) その他計画の策定に関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、会長、副会長及び委員をもって組織する。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、あらかじめその指名する委員が、その職務を代理する。
- 5 委員会の委員は、次に掲げる者のうちから、教育長が委嘱し、又は任命する。
 - (1) 関係する市民
 - (2) 関係団体の代表者
 - (3) 学識経験者
 - (4) 行政関係者
 - (5) その他教育長が必要と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、教育長が委嘱し、又は任命した日から2年以内であって、第2条に規定する所掌事務が終了する日までとする。ただし、補充された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 委員会の会議は、会長が招集し、会議の議長となる。ただし、最初に開かれる会議は教育長が招集する。

(意見の聴取)

第6条 会長は、必要があると認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

(秘密の保持)

第7条 委員会の委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(報償金及び費用弁償)

第8条 委員が会議に出席した場合は報償金を支給し、出席に要した旅費その他の費用を弁償する。

2 前項に規定する報償金の額は、4,500円とする。ただし、第3条第5項第3号に該当する委員で特に高度の専門的な知識経験等を必要とするものとして教育長が認めたものにあっては、20,000円とする。

3 第1項に規定する費用弁償は、真庭市職員等の旅費に関する条例(平成17年真庭市条例第54号)の例により支給する。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、教育委員会図書館振興室がこれを処理し、生涯学習課がこれを補佐する。

(その他)

第10条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

2 真庭市図書館基本計画策定委員会 委員名簿（敬称略）

役 職	氏 名	所 属
会 長	嶋田 学	奈良大学文学部教授（図書館学）
副会長	近藤 美沙子	真庭市郡学校図書館協議会副会長（勝山中学校長）
委 員	井原 悅子	園長代表（久世第二保育園）
委 員	大岩 功	はにわの森 代表
委 員	杉浦 俊太郎	真庭市立中央図書館長
委 員	長綱 かほり	放課後等デイサービス 株式会社ピタゴラス
委 員	松尾 敏正	一般社団法人コミュニティデザイン 代表
委 員	松崎 博子	就実大学人文科学部准教授（図書館学）
委 員	山本 信子	真庭市郡学校図書館協議会長（八束小学校長）

◆ 委員からのひとこと

策定委員会において、ご議論、ご検討をいただいた委員の皆さんからコメントをいただきました。

嶋田会長	さまざまな立場の9名の委員が、真庭市の図書館のこれから展望について「自分たちごと」として語り合いました。「図書館そだて会議」の声も聴きながら、「自分そだて」「まち育て」を支える図書館となることを期待しています。
近藤副会長	学校図書館と市立図書館がつながることで、子どもの学び支援の可能性が大きく広がっていくと期待しています。図書館の在り方について協議する時間は、未来への希望を語り合う時間であったと感じています。参加のチャンスをいただいたことに感謝しています。
井原委員	この会議に真庭市園長会の代表として参加させていただきとても勉強になりました。幼稚園・こども園・保育園は読み聞かせボランティアの方に来園いただきたくさんの絵本に触れ合うことができています。図書館とつながり、絵本を通じて図書館に行ってみたいと思える子ども、親支援の手助けにつなげていきたいと思います。
大岩委員	そだて会議に参加しながら策定委員も務めさせていただきました。本どころか「知の拠点」のみならず「ヒトモノコトのデータバンク」を目指す図書館構想！攻めの5年計画への参画、今から楽しみです☺

杉浦委員	計画策定に関わって下さった皆様に御礼申し上げます。ウィズコロナ、デジタルなど多様化する時代の要請に応える、真庭市らしい、真庭市にしか出来ないオンリーワンの計画を誇りに思います。ありがとうございました。
長綱委員	この計画の完成がゴールではなく、障害を持たれた方を含む市民全体に相手に合わせた形で計画が広がり、一人ひとりが計画の意味を知った上で市立図書館のオーナーとなれますように。
松尾委員	この度は、図書館の未来を考える委員に選出していただき感謝いたします。まちづくりと図書館の親和性は必然であり、市民が気軽に立ち寄れて知識の共有ができる最善なる場所であること。そして、誰もが「知る権利」を行使すべき場所であることをさらに周知すべきと実感しました。
松崎委員	この計画に示されたアクションプランに従い、「5つの柱」に沿って図書館の使命を果たし続けますように、真庭市民のみなさまから支持される、唯一無二の地域性溢れる図書館となりますように願っております。
山本委員	学校図書館と公共図書館を改めて見直す機会をいただいたことに感謝しています。それぞれの役割を果たしながらも連携をしていくことの大切さを痛感しました。さまざまな立場の方の意見に明るい未来を感じるとともに自分自身の学びとなりました。ありがとうございました。

3 検討過程

2020年9月17日(木)	第1回図書館そだて会議 蒜山図書館
9月23日(水)	第1回図書館そだて会議 北房図書館
9月24日(木)	第1回図書館そだて会議 美甘図書館
9月24日(木)	第1回図書館そだて会議 久世図書館
9月25日(金)	第1回図書館そだて会議 湯原図書館
9月25日(金)	第1回図書館そだて会議 落合図書館
9月26日(土)	第1回図書館そだて会議 中央図書館
9月27日(日)	第1回真庭市図書館基本計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> 策定委員委任、会長、副会長選出 新基本計画策定に向けての手順等の確認 従来構想、計画の振り返り 第1回図書館そだて会議での意見、提起された問題の整理等
11月18日(水)	第2回真庭市図書館基本計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> 第1回そだて会議での意見、提起された問題の検証 計画に盛り込むべき項目について 新図書館基本計画の大きな方向性について 各種統計数値等に基づく分析、評価について
12月2日(水)	第2回図書館そだて会議 蒜山図書館
12月9日(水)	第2回図書館そだて会議 美甘図書館
12月10日(木)	第2回図書館そだて会議 久世図書館
12月18日(金)	第2回図書館そだて会議 落合図書館
12月20日(日)	第2回図書館そだて会議 北房図書館
2021年1月14日(木)	第2回図書館そだて会議 湯原図書館
1月16日(土)	第2回図書館そだて会議 中央図書館
2月4日(木)	第3回真庭市図書館基本計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> 第2回そだて会議の内容や意見について 新図書館基本計画素案について
3月2日(火)	真庭市議会文教厚生常任委員会 中間報告
3月10日(水)	第4回真庭市図書館基本計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> (仮称)図書館みらい計画素案について
4月1日(木)~30日(金)	パブリックコメント実施
5月21日(金)	教育委員会の議決を経て決定

4 図書館そだて会議レポート

令和2(2020)年9月と12月から令和3(2021)年1月にかけて市内全館で図書館そだて会議を2回開催しました。図書館への思いや、図書館でやってみたいこと、やっていきたいこと等を話し合いました。図書館そだて会議の様子は、図書館ホームページに「図書館そだて中」という特設コーナーをつくり、市民にお知らせしていました。

【概要】

第1回図書館そだて会議	
内容	<p>① 図書館内見学ツアー</p> <p>② 開催館以外の図書館の紹介スライド上映</p> <p>③ グループディスカッション</p> <p>【テーマ】</p> <p>これまでの図書館の取り組みをどう思うか、これからどうなってほしいか、そのためにはできることは何か</p> <p>④ 中央図書館長によるプレゼンテーション</p> <p>「これから皆さんと進めてゆきたいこと」</p>

詳細は48ページ～

第2回図書館そだて会議	
内容	<p>① 第1回図書館そだて会議の内容報告</p> <p>② 図書館基本計画策定委員会での検討内容の報告</p> <p>③ 参加者と図書館長、司書とのディスカッション</p> <p>【テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none">第1回目のそだて会議で出たアイデアのうち図書館でやってみたことこれから図書館でやりたいこと、図書館と一緒にやってみたいこと、どんな図書館にそだてて行きたいか等

詳細は63ページ～

真庭市 第1回図書館そだて会議レポート

- 蒜山図書館 《日時》2020年9月17日(木) 午後7時～《参加人数》13名
- 北房図書館 《日時》2020年9月23日(水) 午後6時～《参加人数》6名
- 美甘図書館 《日時》2020年9月24日(木) 午後2時～《参加人数》9名
- 久世図書館 《日時》2020年9月24日(木) 午後7時～《参加人数》8名
- 湯原図書館 《日時》2020年9月25日(金) 午後1時～《参加人数》3名
- 落合図書館 《日時》2020年9月25日(金) 午後5時～《参加人数》10名
- 中央図書館 《日時》2020年9月26日(土) 午後2時30分～《参加人数》8名

7館計57名

全体の考察

真庭市全7図書館で実施した「図書館そだて会議」で出た多様な意見を基に、今後真庭市図書館の役割や将来像として求められる要素を抽出。真庭市市民が図書館で実現したいと考えること、図書館に求めるものを整理・分析し、「新真庭市図書館基本計画」に反映していく。全館で共通する意見と、地域特性による地区館ならではの意見も見られたため、真庭市立図書館にもとめられていること、中央図書館としての役割、各地区館の役割、という3段階で内容を整理した。

真庭市立図書館にもとめられていること

- 子ども（とその保護者）や高齢者の読書や交流の場づくり
- 地域住民の顔が見える場づくり
- 郷土資料の保全・地域の情報発信
- 全7館の連携と、各館を窓口とした広い世界とのネットワーク

中央図書館としての役割

新たに整備された中央図書館として、地区図書館との連携を牽引していく司令塔としての役割を担っていくことが重要であると考える。地区館で取り組み実績や、抱えている課題を吸い上げ、全館で共有することで全体に波及させていくことが必要である。そのためにも、イベントや展示企画の巡回等、情報を連動させる仕組みづくりも検討していく。地区館だけでなく、学校図書館等地域全体との連携の窓口として機能することを目指す。また、蔵書数の格差についての意見が複数館から出ていたので、選書方法の見直しや蔵書の巡回等も検討していく必要があると考える。

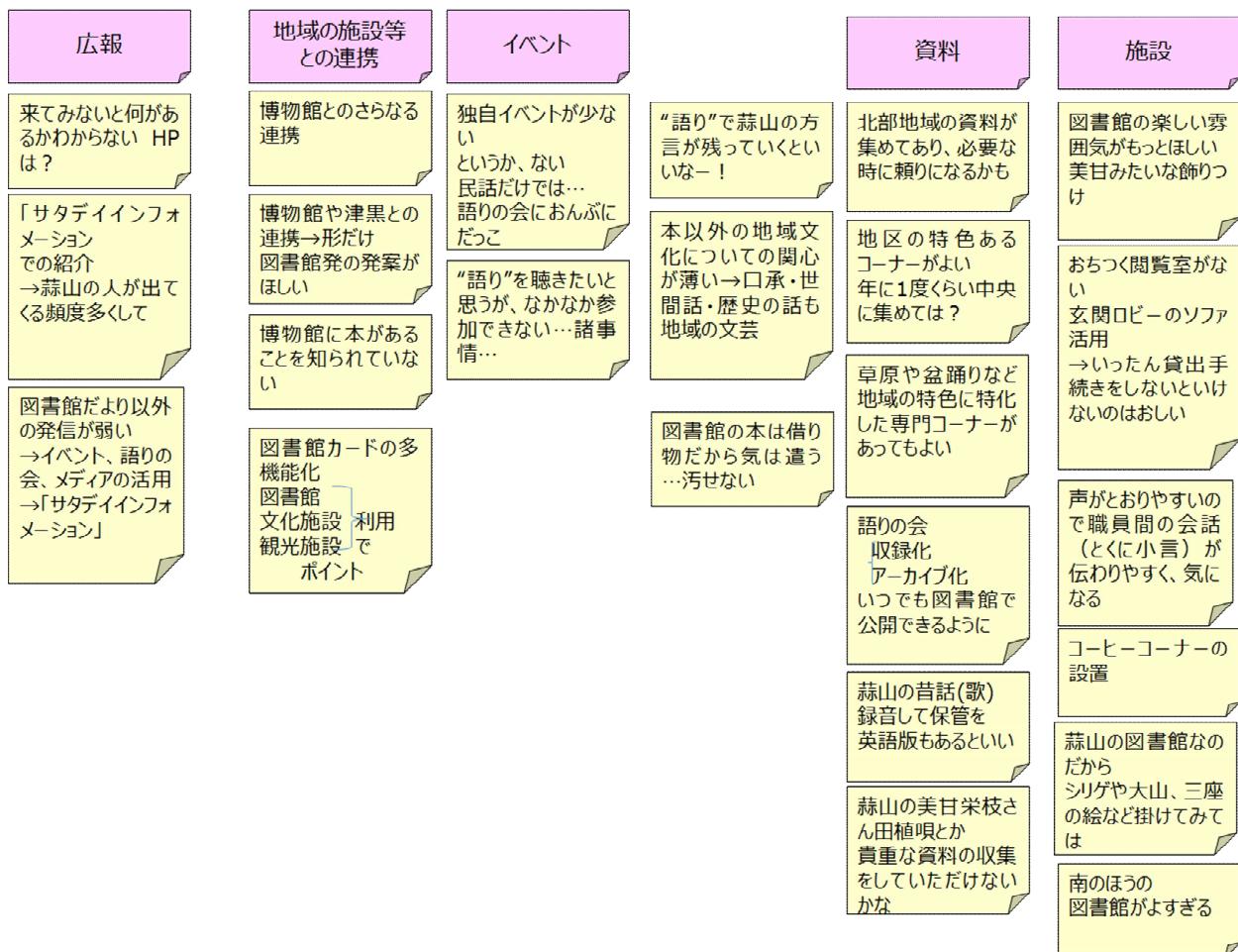
各地区館の役割

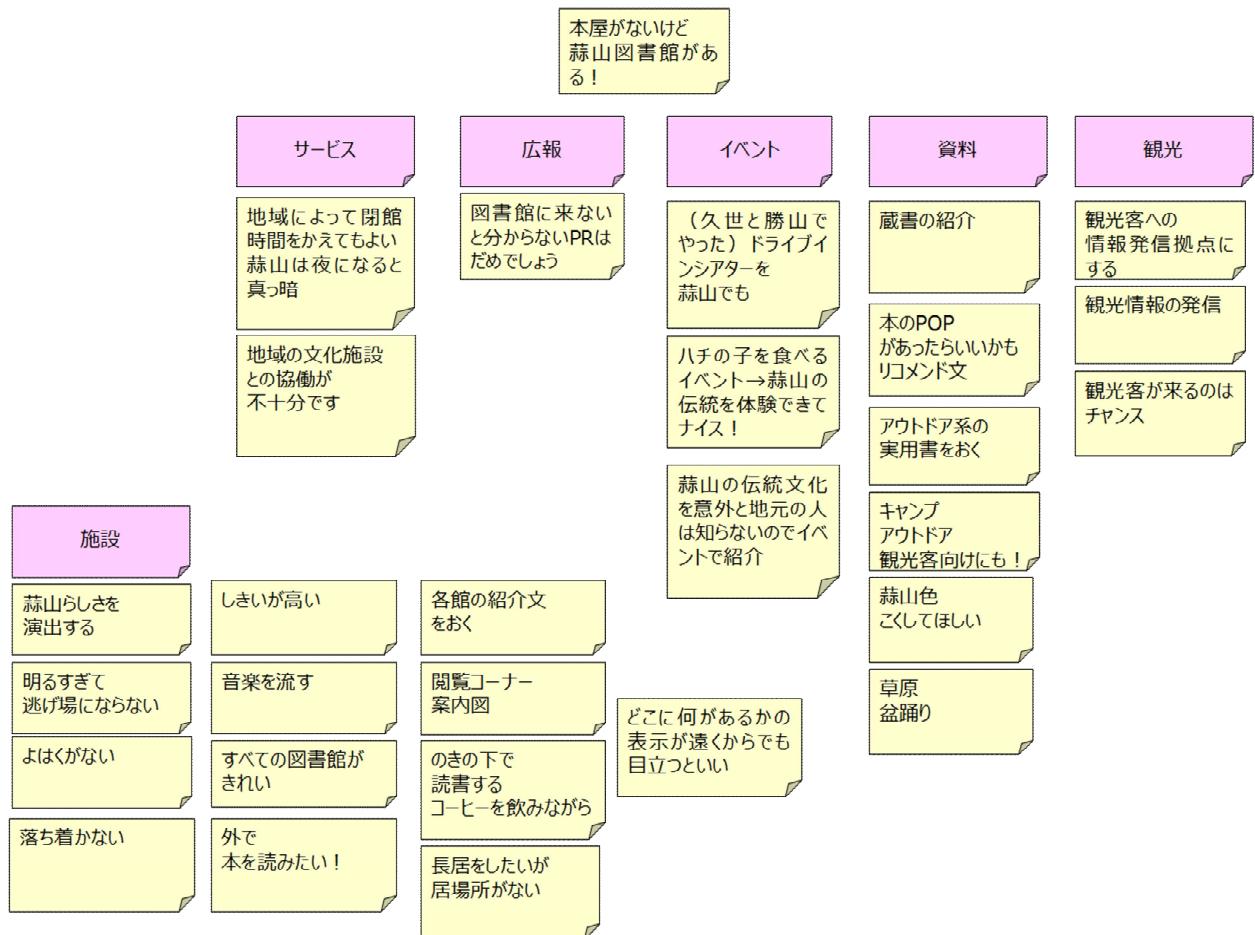
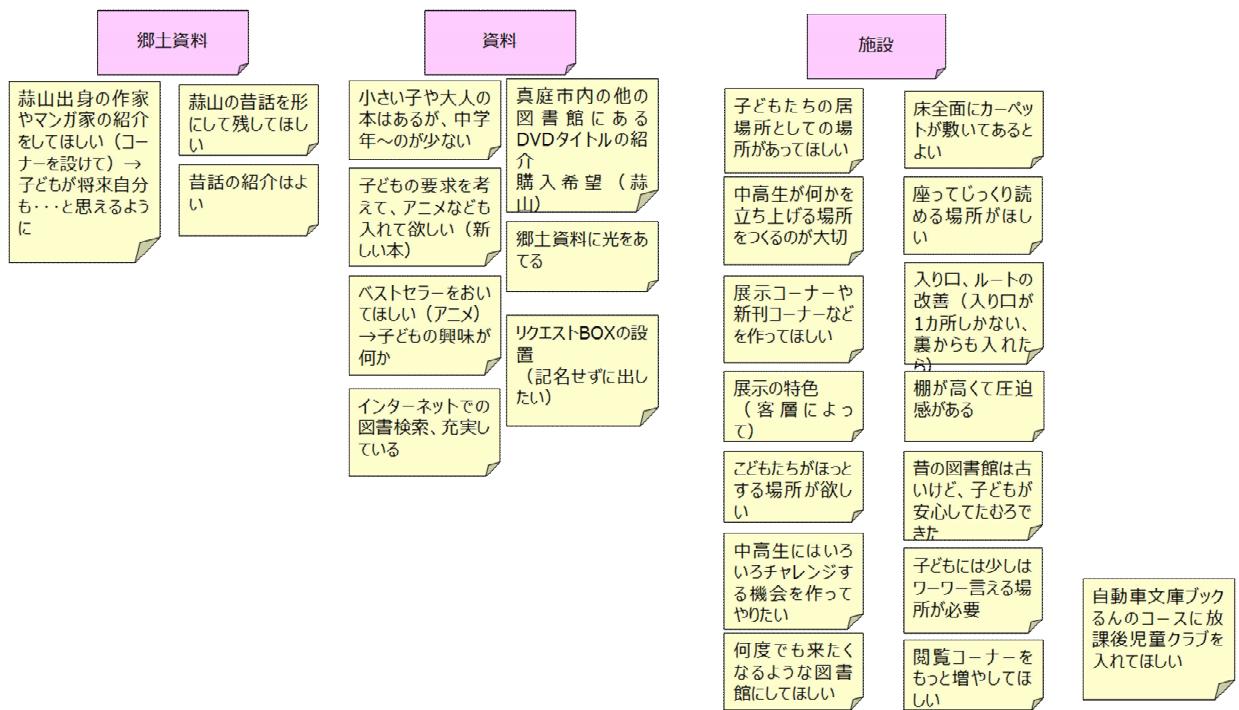
限られた人員での運営体制であるからこそ、中央図書館、各地区館と連携し、レファレンス等、図書館サービスの質を維持することが求められる。また地区館として、郷土資料等、地域の情報の収集、整理、保全をし、中央図書館で集約、広く情報発信ができるようにする。また、地域の歴史や産業、観光資源に着目し、その地域の魅力を伝える役割も今後期待される

各図書館での会議概要・要点整理

【蒜山図書館】

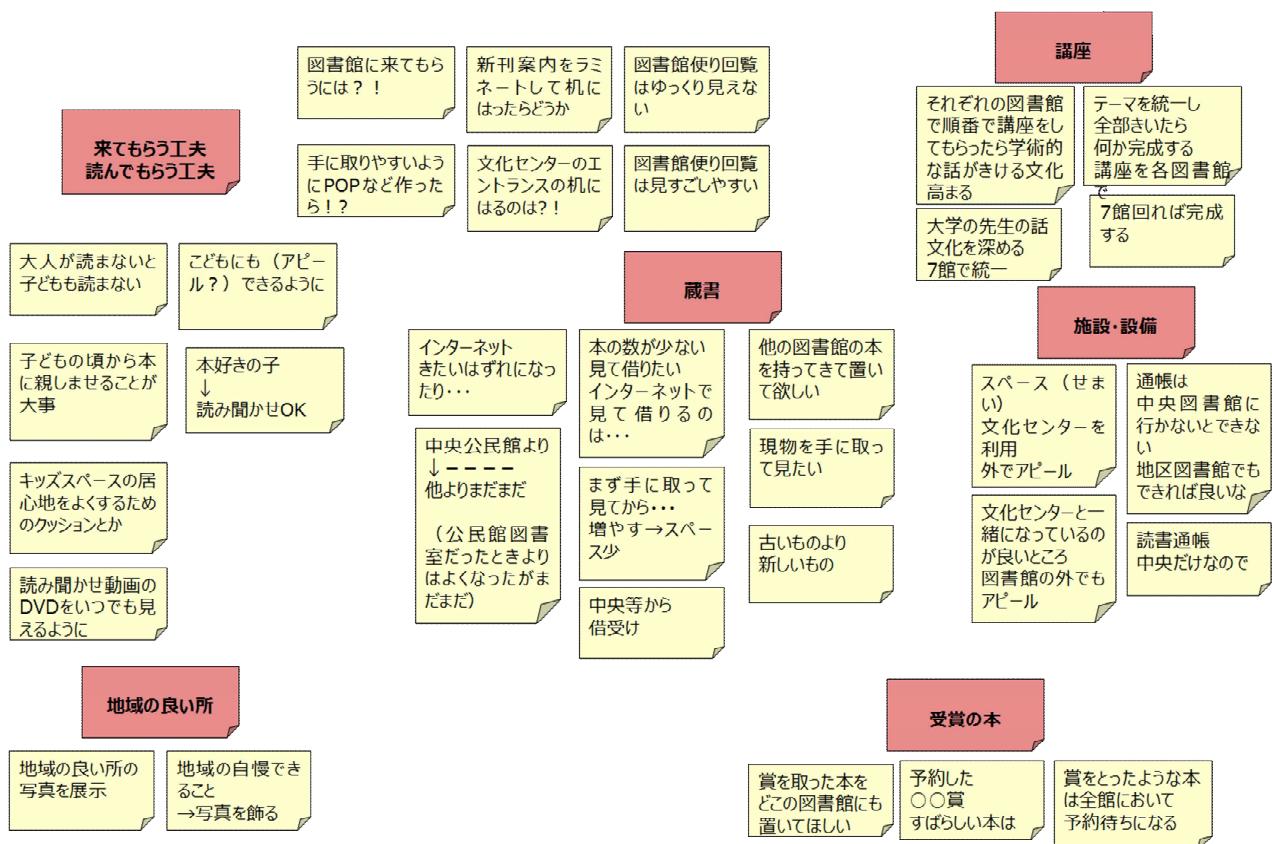
1. 「居場所」としての図書館を求める。本の貸出だけでなく、長時間滞在できる居心地の良さが求められている
2. 子ども、中高生にとっても有意義な場所が必要とされている。子どもが安心して過ごせる場所が減少しており、図書館にその役割を求めている
3. 地元の語りの会との連携や、郷土資料の保全や活用への意識が強い。市内のほかの地域のこととも知りたい

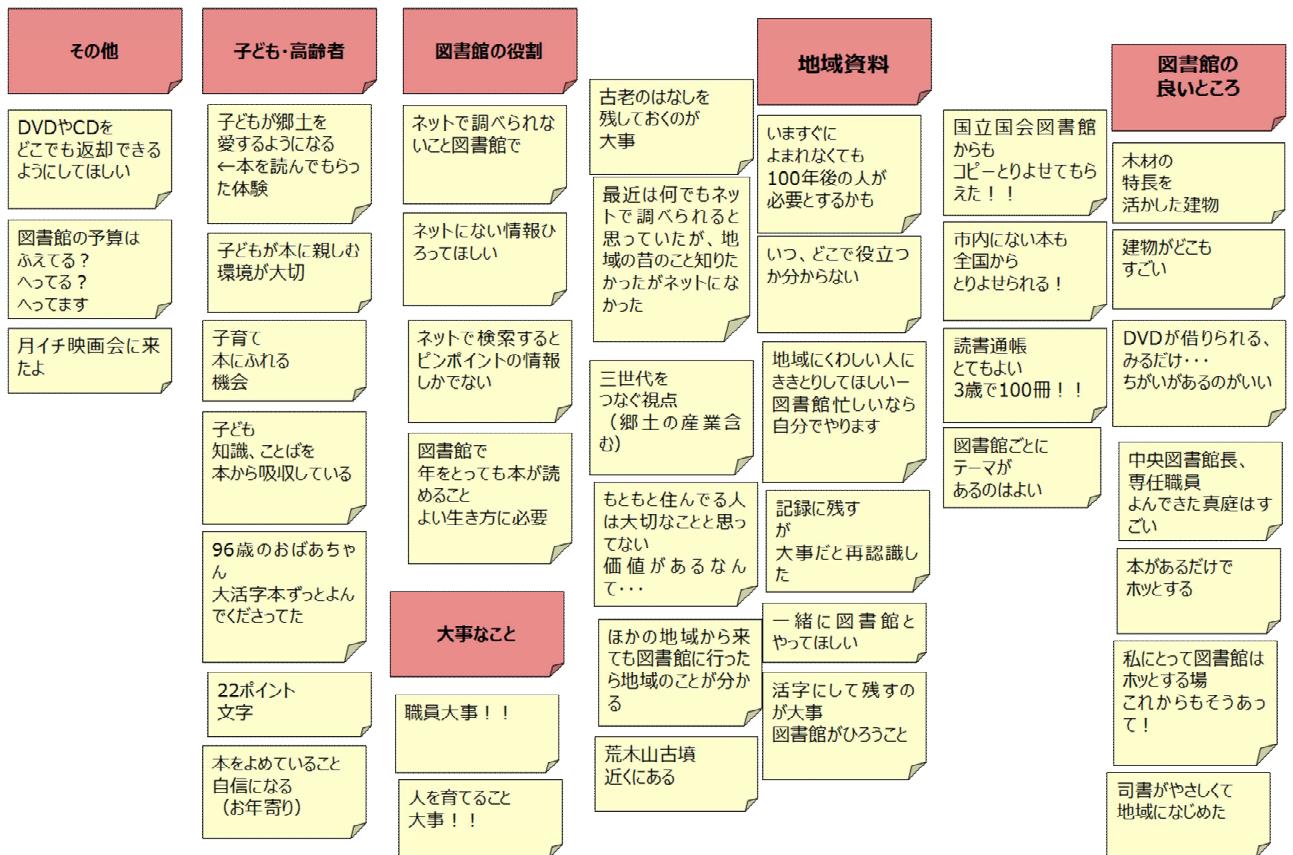




【北房図書館】

1. ネット時代における図書館の役割を強く意識し、特に地域資料の保全の重要さを認識している
 2. 司書や職員等人材育成の重要さをあげており、司書との関係性を意識していることが伺える
 3. 子どもの読書活動のためにも、本に触れられる環境づくりを必要としている
 4. 高齢者の読書の大切さにも着目
 5. 資料運用、蔵書活用の工夫。7館、市域を越えた図書館ネットワークの活用





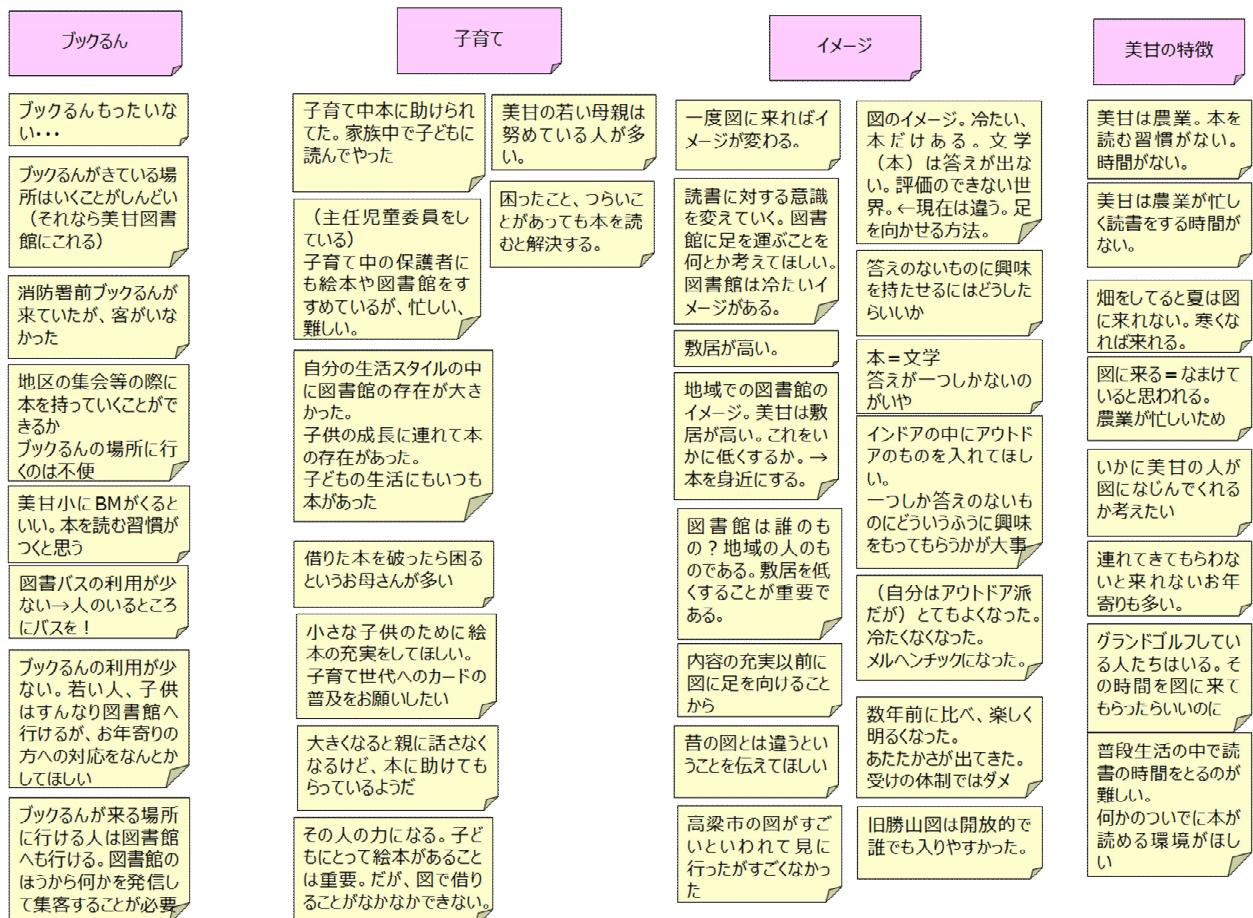
後日いただいた意見

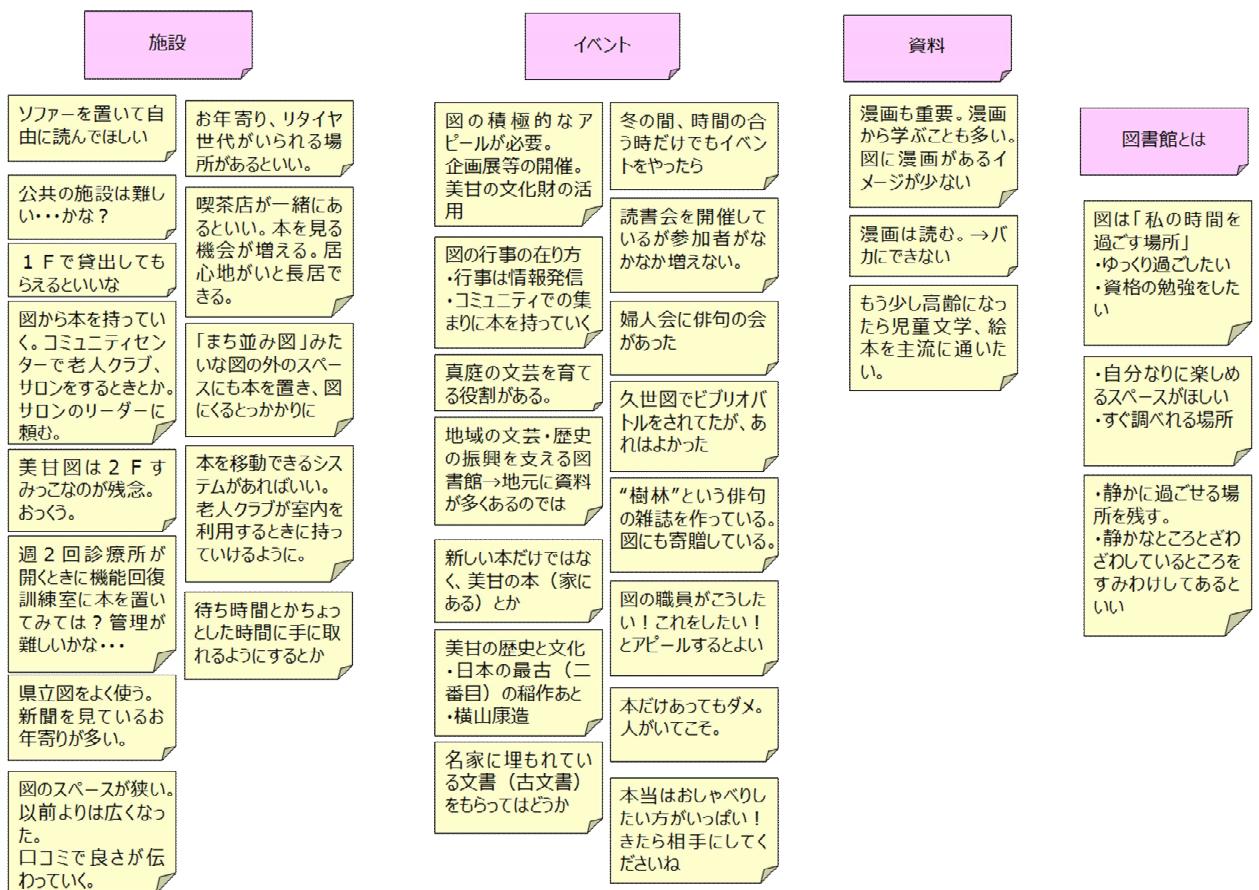
日常性を大切にする視点をこれまで通り維持してほしい。

- ・図書館でこんな人がこんなことを書いているのかと考え本を手に取るのは至福の時間
 - ・図書館で調べものをしていて国会図書館から資料を取り寄せてもらったことがある。地方にいてもいつでもこうしたことができるのうれしいこと
 - ・本の感想など司書さんと話ができるのもありがたい
 - ・年齢を重ねても学続けることをあきらめないために、大活字本の種類と数を増やしてほしい
- 日常が豊かであることは、ささやかでも文化だと思う

【美甘図書館】

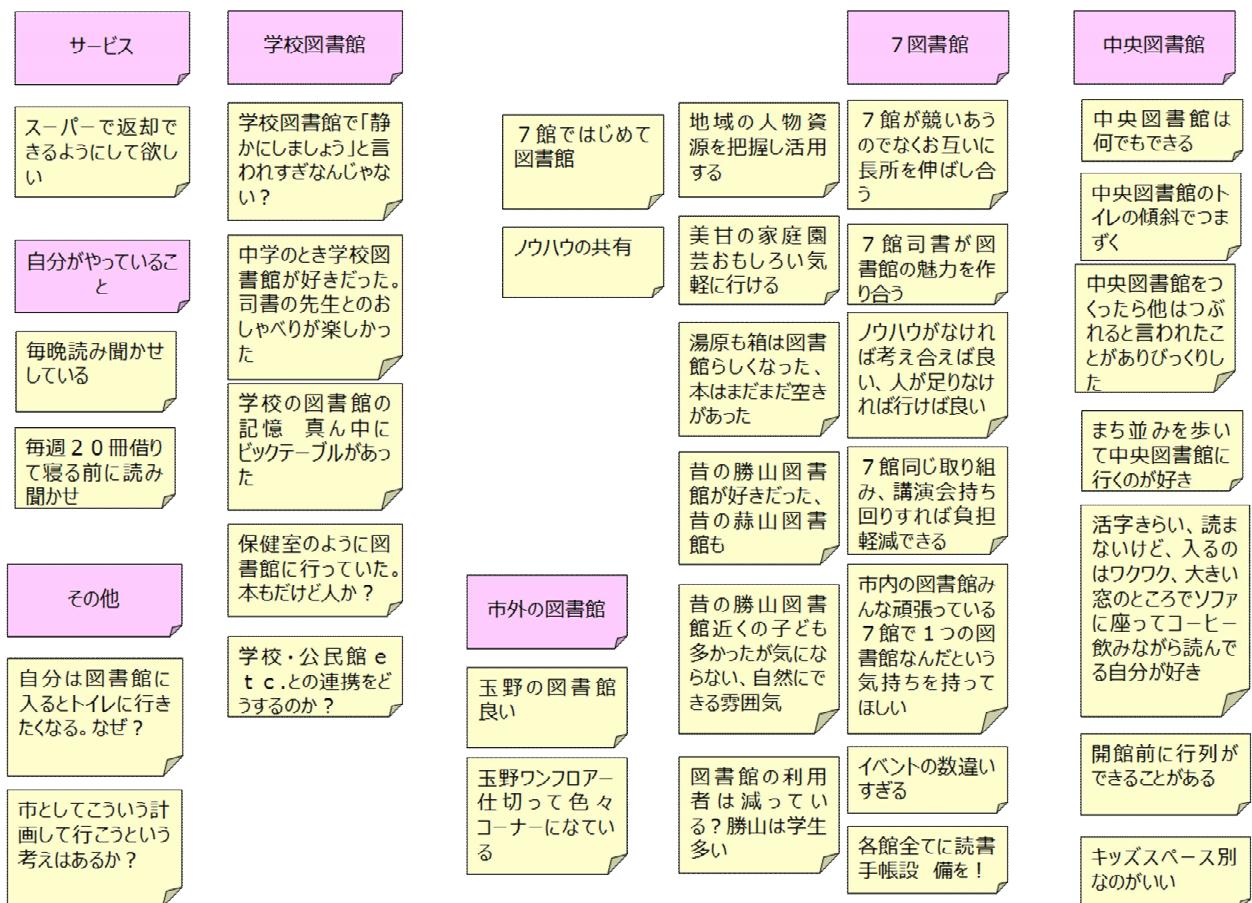
1. 図書館のイメージが閉鎖的で敷居が高いため、まずは誰でも入りやすい場所にしたい
2. 外（地域の集まりだけでなく、振興局内にも）へ出向いていくことも必要
3. 久世のようなイベントの開催の希望等、人とのおしゃべりや交流を図書館に求めている
4. ぶっくるんの利用者が少なく活用されていない。図書館に行きづらい人に本を届ける工夫が必要
5. 図書館へのイメージの更新が必要。マンガや多様なジャンルの蔵書があることを知らせる
6. 住民の書斎のような場所も必要とされている





【久世図書館】

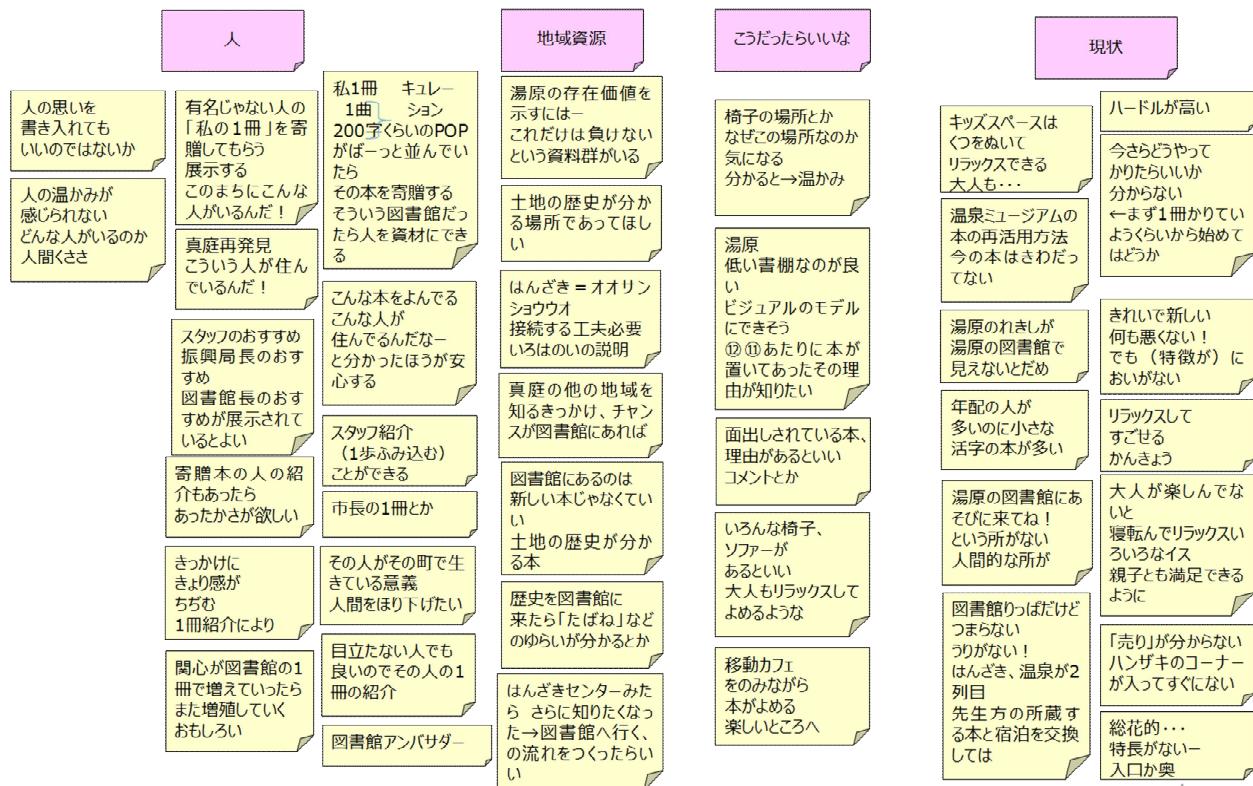
1. 以前は中央図書館の役割を担っていたからこそ、中央図書館との比較や、7館の図書館への意識が高い
2. 子どもがのびのびと楽しく利用できるような空間を求めている。子どもに限らず、大人にとっても静かすぎる事がストレスになっており、人のコミュニケーションが楽しめるような図書館になってほしいという意向が見られる



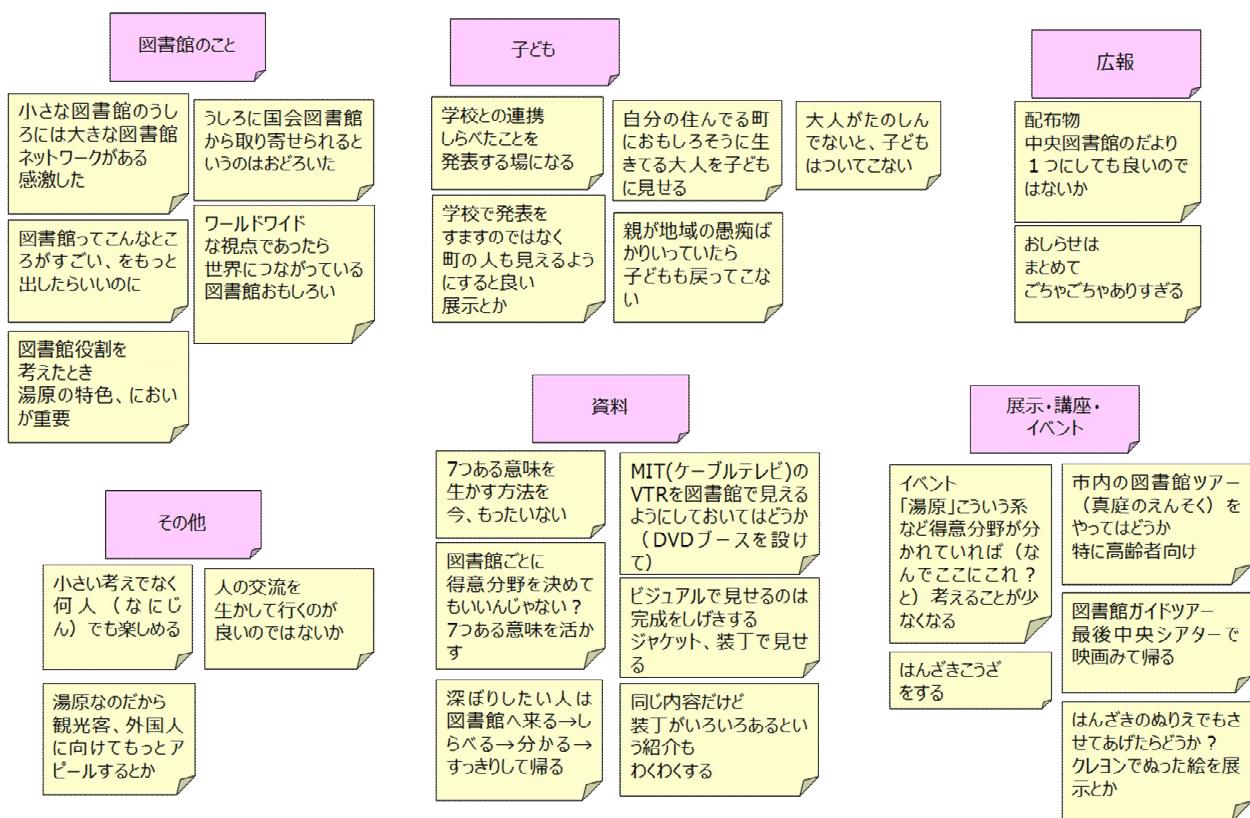
音・BGM	久世図書館	蔵書	司書の役割とは？	図書館とは？
自分の動きを気にされているような気がする。音	なぜ図書館が好きになれないか？静かにしないといけない。無音・迷惑気になる	入り口の方に机があり人が多く落ち着かない。入り口に絵本コーナー、奥を閲覧机にしては？	久世はビジネス書が少ないが、リクエストで取り寄せてもらえるのでOK	司書が図書館の雰囲気をつくる
音楽を流す時、時間スペースを分ける	少し音楽がながれている方が良い他の人の音が聞こえて気にならない	子どものスペースと完全に分かれていないのでどうすれば良いか。お話し室のこと知られていない。	ここにある本、あちにある本、使いわけている	司書の役割とは、来てくれる人とのつながりを作る
しゃべっても良い図書館がいい	時間を決めておしゃべりしても良い時間、静かにする時間、音楽を流す時間つくる？	子どものコーナーが、A Vブース付近にあれば落ち着く。模様替えしてみては	目的の本を借りたら長居はしない	来館者とのつながりづくり大切
しゃべれる日を作る	子どもを注意したくない。楽しく本を選びたい	限られたスペース上手にシェアして使うしかない	大型絵本楽しみ	新しい図書館になって司書に声をかけにくい
しゃべりながら本を探す、楽しく会話しながらできる時間が欲しい	静かにしなければいけないイメージが強い	久世の配架ずっと変わらず	下を向いて忙しそうにしている	下を向いて忙しそうにしている
ワンフロアの図書館で子どもの声どうしたら良いか親も困る	ワンフロアの図書館で子どもの声どうしたら良いか親も困る	久世はエスパスの職員だが、他の図書館と競い合うより協力して	忙しい原因は何だろう	忙しい原因は何だろう
			コンシェルジュ的な人がいたら	コンシェルジュ的な人がいたら
			レファレンス、これを調べたいという欲求に応える	レファレンス、これを調べたいという欲求に応える
				こっちに向かって来てくれる図書館だった、今はあれ？

【湯原図書館】

- 半年前にリニューアルしたばかりなので、新しくきれいだが特徴がない、敷居が高いという意識がみられる
- 人との交流や、人間味のあるサービスを求める傾向にある。
- 観光地として、図書館も活用し外部の人を呼び込みたい、湯原の特徴をもっと打ち出していきたいという意識がみられる
- 図書館員が当たり前と考えていることをアピールする必要あり 例) 図書館での本の借り方。図書館間ネットワーク
- 温泉街とのタイアップの工夫

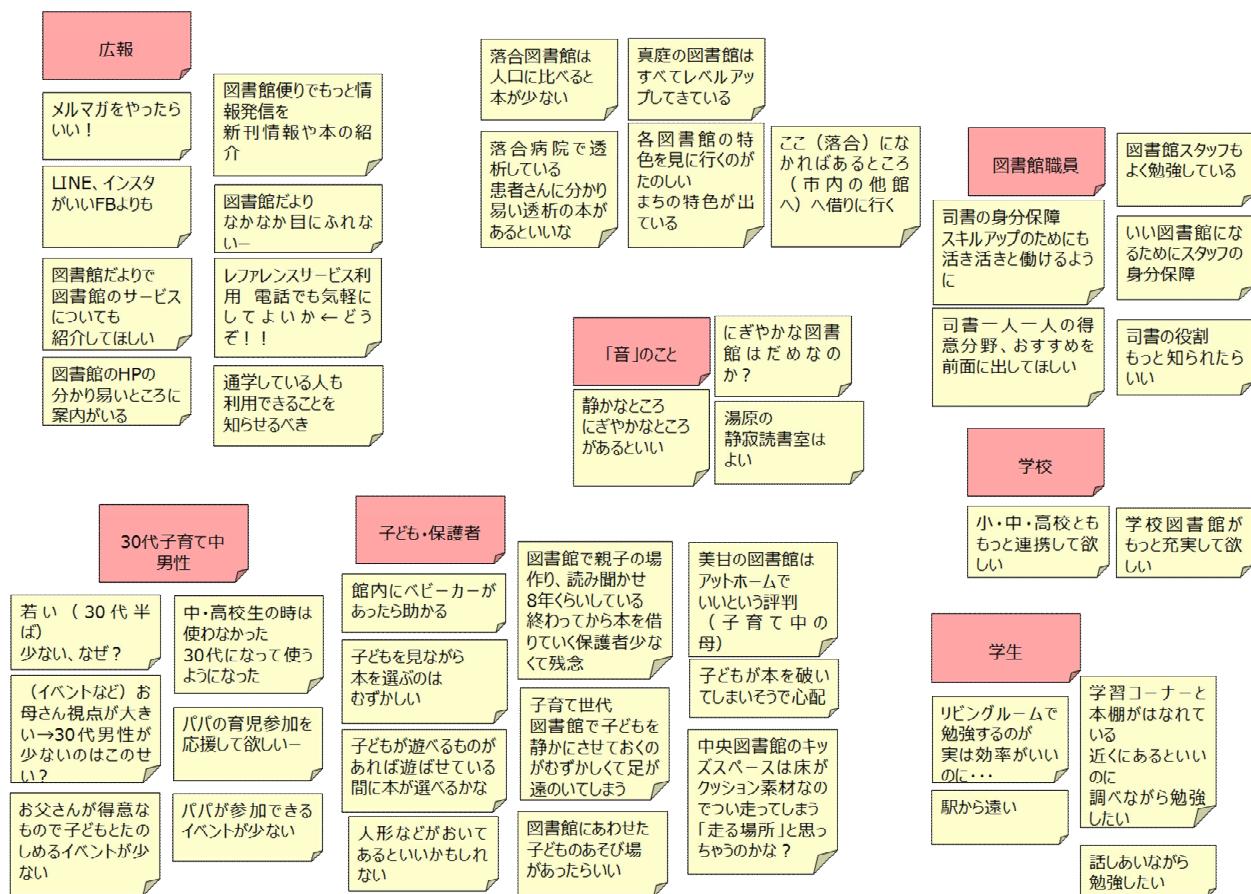


1



【落合図書館】

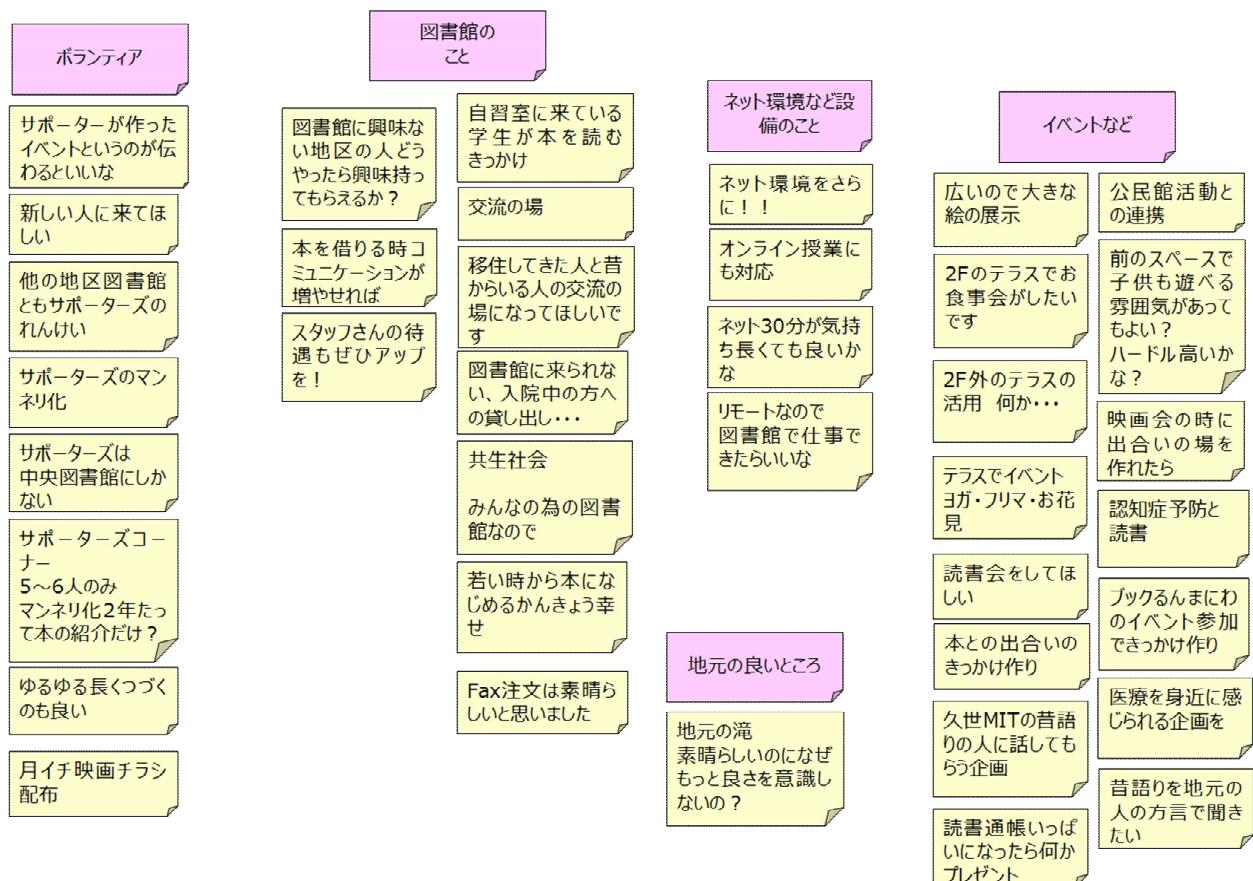
1. 子連れでの図書館利用のハードルの高さや、お父さんも参加できるイベントが少ない等、子育て世代の目線での意見が目立つ
2. 蔵書の少なさを指摘しており、中央図書館や他館との連携が必要
3. 学校図書館との連携を求める意見がみられ、現状把握が必要
4. 図書館の「にぎやかさ」を考える必要がある（全館に共通）

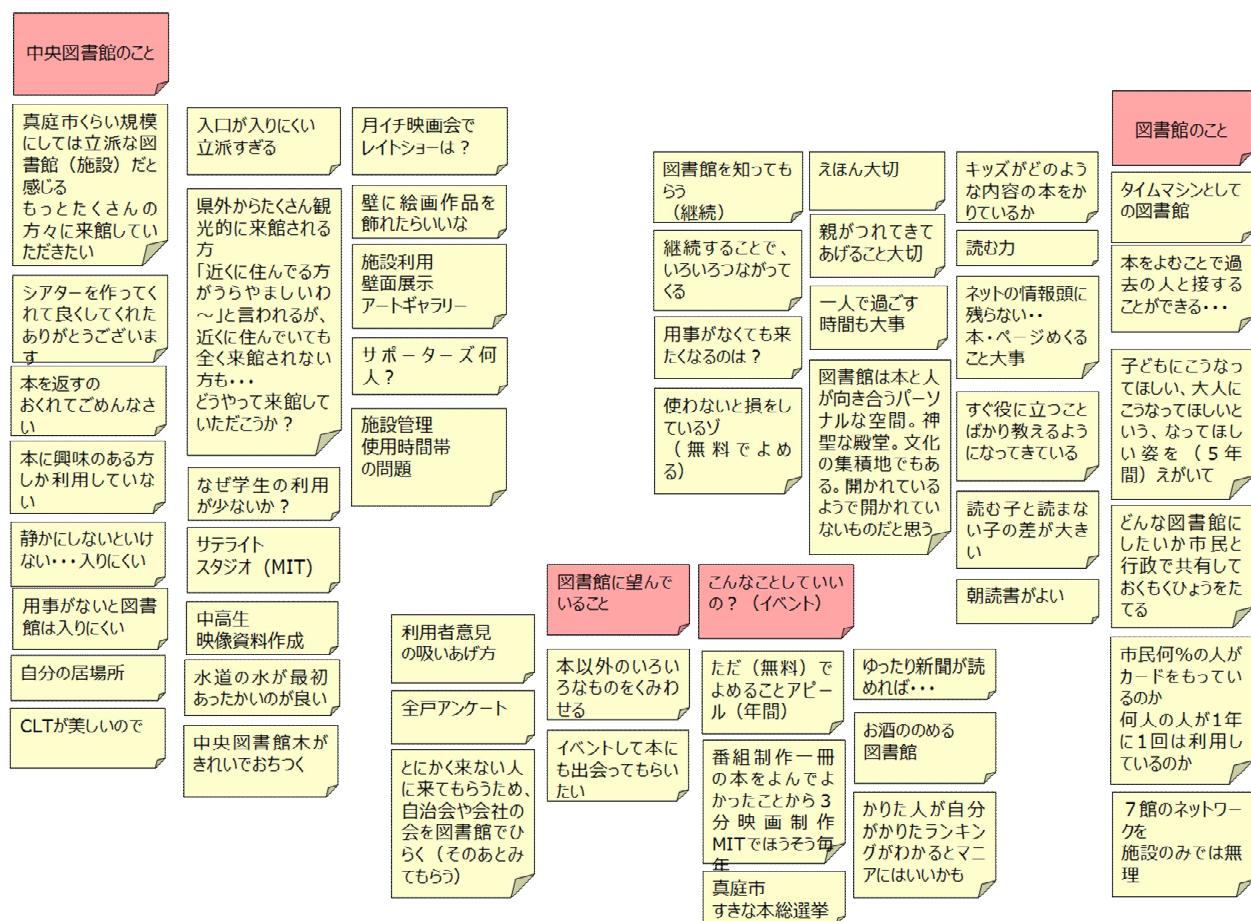


蔵書	施設	サービス	イベント	P R方法
本の表紙が表になっているから興味を引く本を見つけられると思いました	県立より新刊が入るのが遅い	キッズルームお母さんが気を遣うのではないか 絵本の棚が少し低いのでは？	コピーサービスのこと知らなかつた 図書館では著作権法による制限あり 振興局窓口では何でもOK	子どもがあつまりにくい 図書館でイベントしても両親が興味を持って連れてきてくれないとハーダル高い 大人が楽しいから子どもを連れてくるくらいでないと
中央の本を巡回でまわして手に取ってみたい	健康子育ての本の展示を児童書のそばに	(案内の)字の大きさ 病気がみえるシリーズなど看護の本があるといい	視聴覚室で良く仕事で使っている時に電源が近くに欲しい	図書館に行くきっかけ作り大切
閉架の本を見てみたい	落合には看護・医療の本あったが真庭で多い病気の本を重点的に集めるとか	学習スペースをもう少し広くしてもらいたいと思います	閉館時間を遅くしていただけたら30代にはありがたい	図書館の良いところを今日始めて知りたいと思った→PRしてみたら良いのではないか
もっと表紙の見える置き方にしてほしい	本が思っていたより少なかった	学習スペースで勉強していて分からぬことを本で調べたい	気にならないBGM(ボサノバ)くらいは良いのでは？ 学習室は静かがいい	子どもたちのお父さんお母さんにもっと興味を持ってもらえるように
学校の連携で図書館の本をまわしてあげると良い	寺社が多いので宗教の本(仏教・神道)の特集もたまにしてほしい	インターネット検索で表紙が見える方がイメージしやすい	生涯学習や公民館とコラボのプログラムイベントを定番にするのもアリかも？	本の取り寄せできることをもっとPRすると良い
図書館と学校の連携			コロナが終わったら生涯学習へ行きたい	

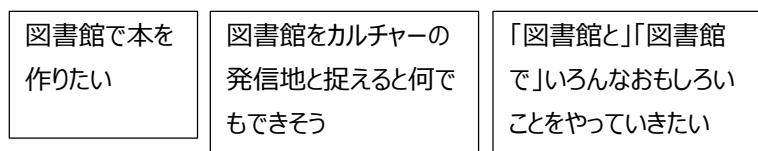
【中央図書館】

1. せっかく立派な図書館ができたので、もっと地元の人に来て活用してもらいたい、そのためのきっかけ作りの必要性を感じている
2. 2階のテラスや、正面口前のスペース等、設備が整っているのに活用できていない、場所を使って、読書・本に限らず色々なことをやってみたいという意識がみられる
3. 開館準備時には盛り上がっていたサポーターズの活動の停滞感が見られる。ゆるく長く続けられるような仕組みづくりが必要
4. ネット環境の整備が、新しい利用者開拓につながるのではないかという意見がみられた
5. 市民のアイデアを受け入れること。トライ＆エラーでも良い。すぐに役立たなくてもよいという視点





後日いただいた意見



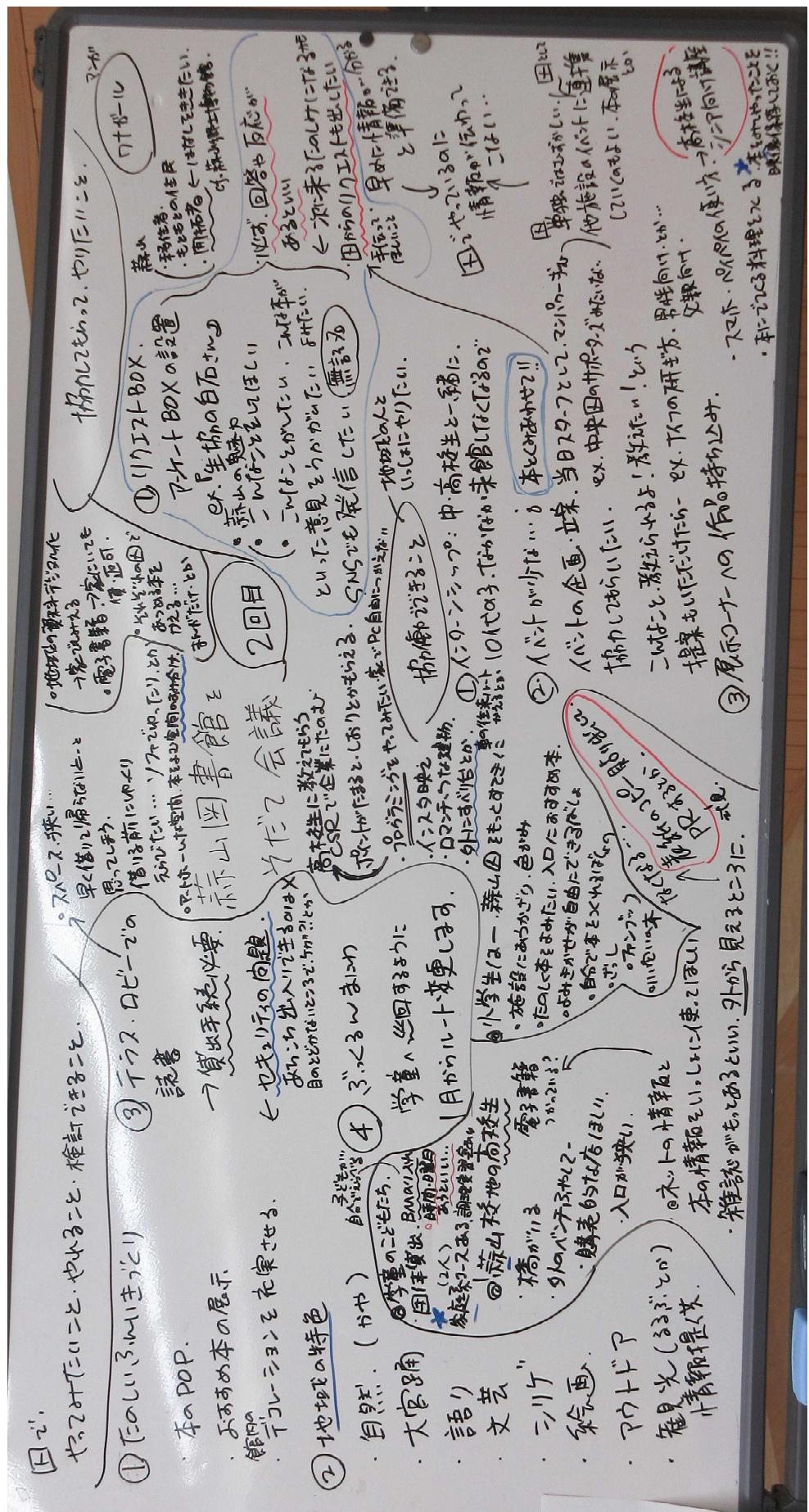
以上

真庭市 第2回図書館そだて会議レポート

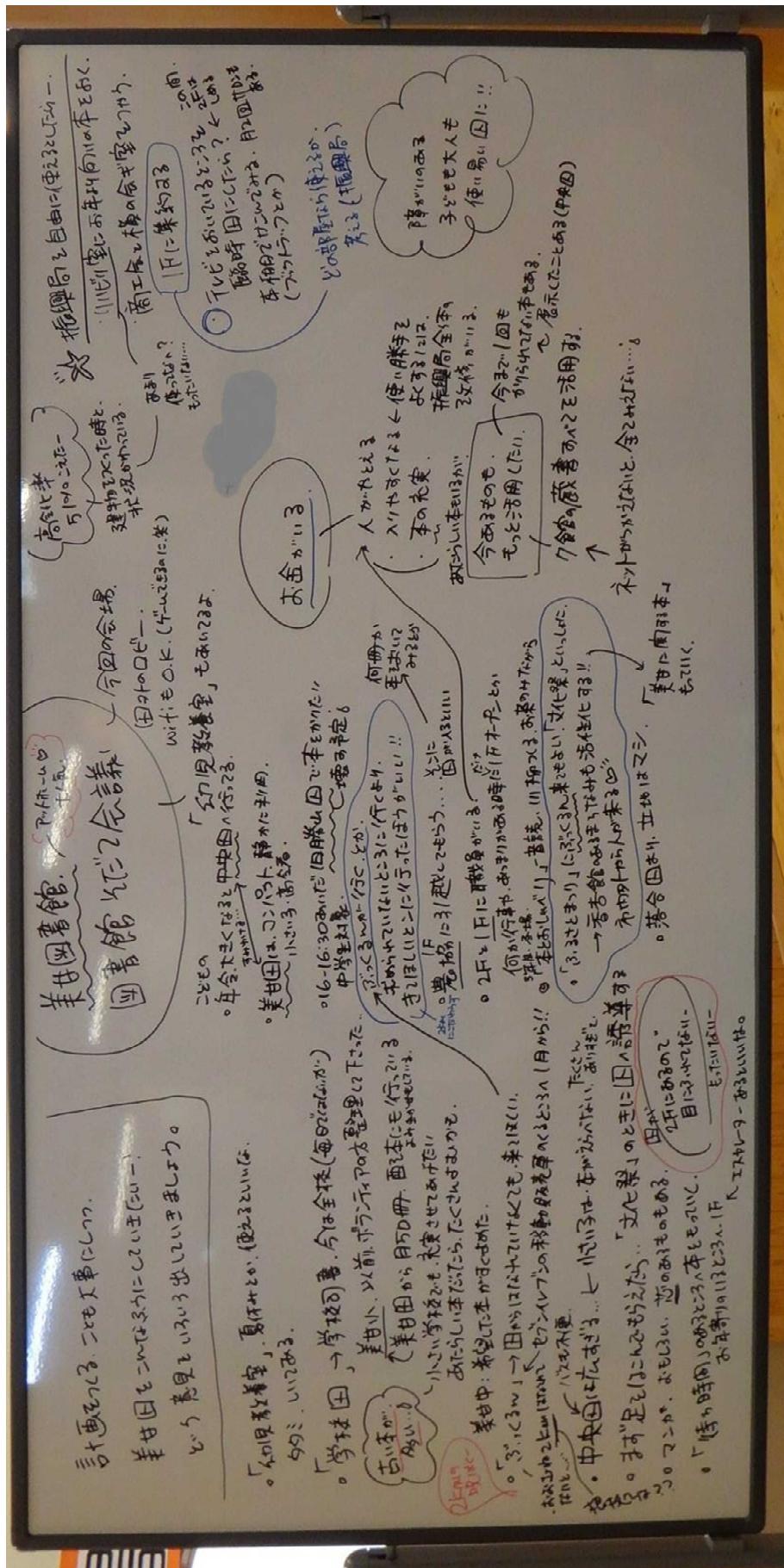
- 蒜山図書館 《日時》2020年12月2日(水) 午後7時～ 《参加人数》14名
- 美甘図書館 《日時》2020年12月9日(水) 午後2時～ 《参加人数》3名
- 久世図書館 《日時》2020年12月10日(木) 午後7時～ 《参加人数》8名
- 落合図書館 《日時》2020年12月18日(金) 午後4時～ 《参加人数》8名
- 北房図書館 《日時》2020年12月20日(日) 午前10時～ 《参加人数》8名
- 湯原図書館 《日時》2021年1月14日(木) 午後3時～ 《参加人数》3名
- 中央図書館 《日時》2021年1月16日(土) 午後2時～ 《参加人数》9名

7館計 53名

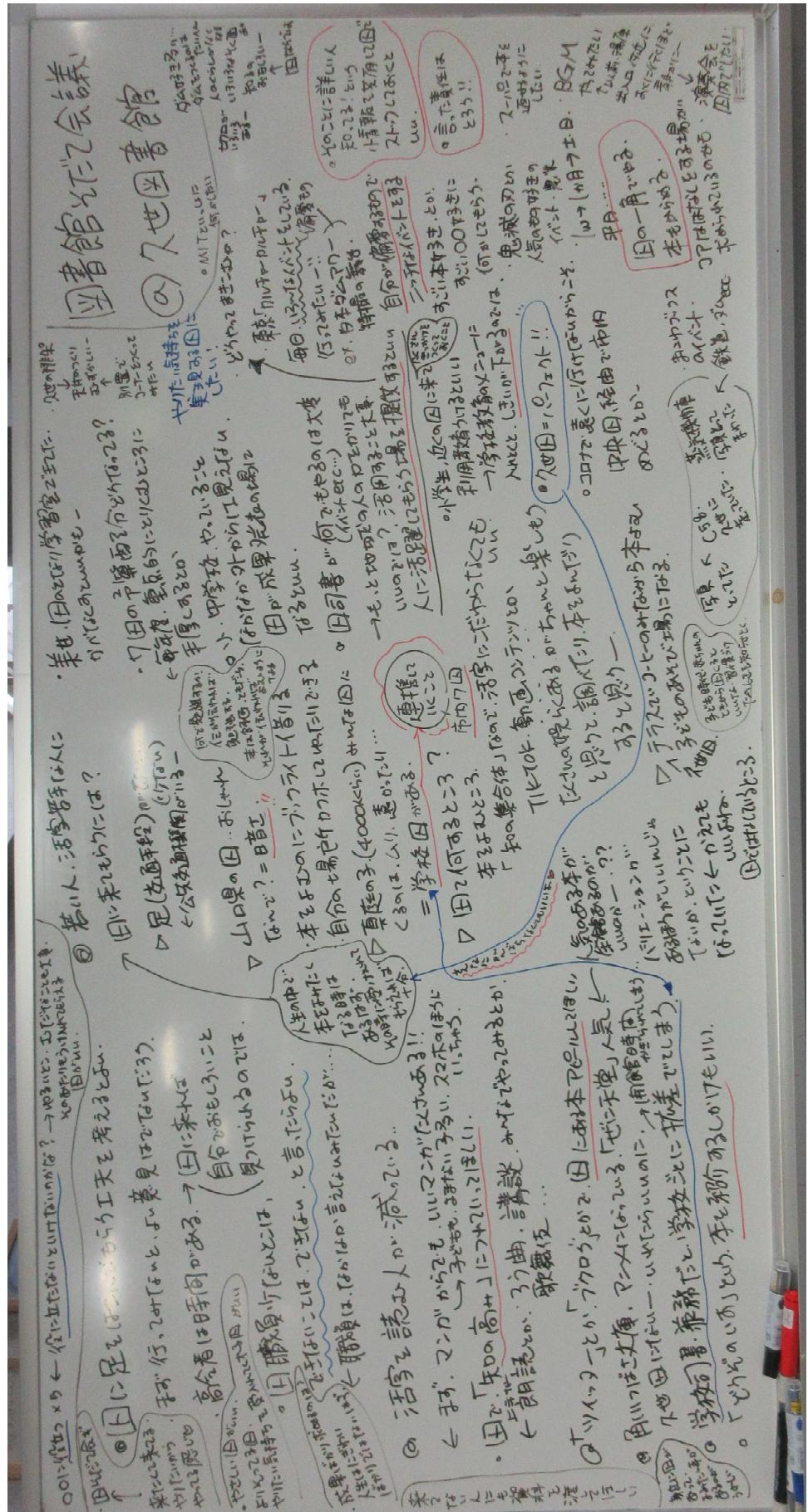
第2回目はディスカッションの内容をホワイトボードで共有しながらすすめました。



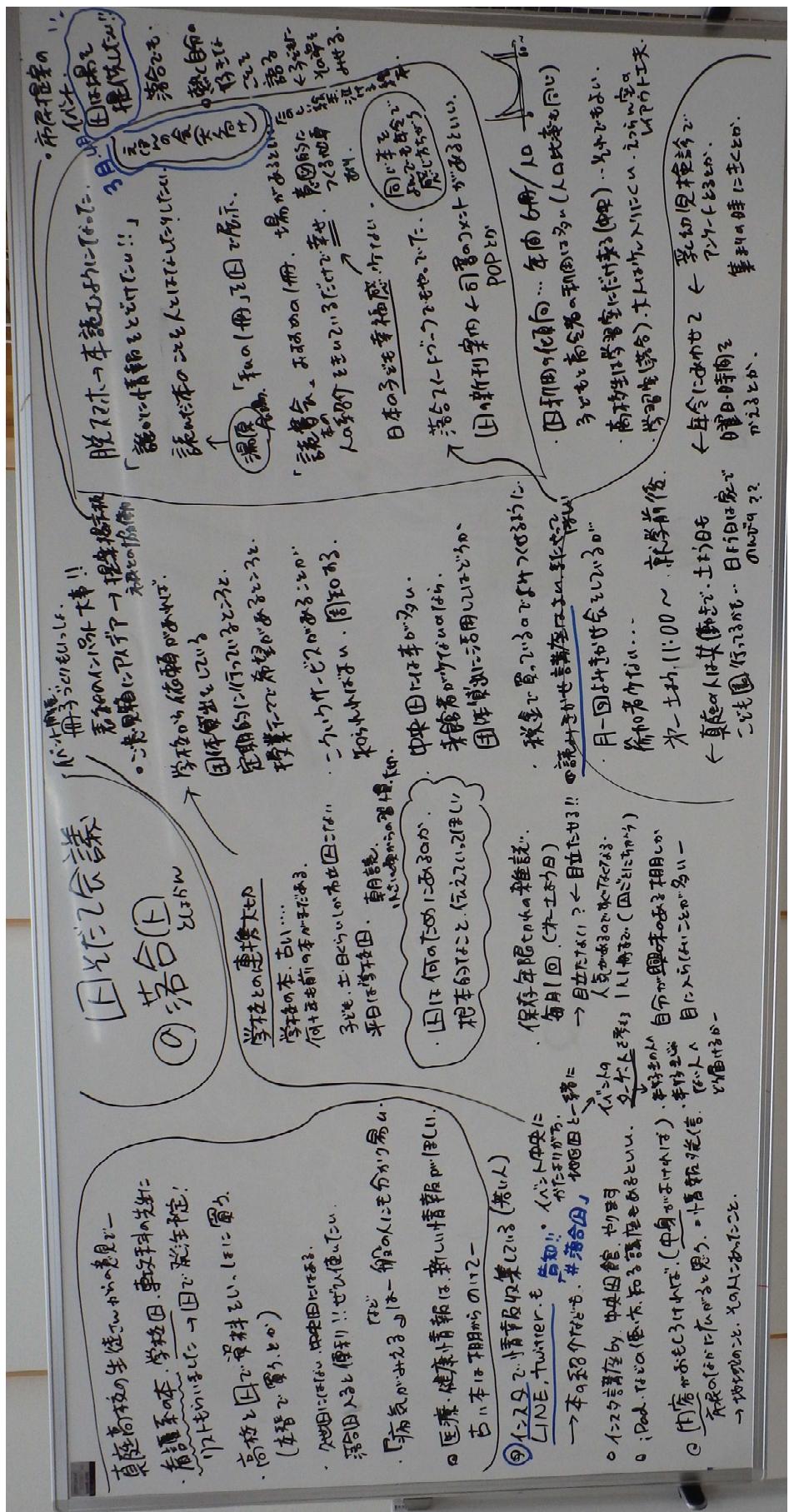
【美甘図書館】



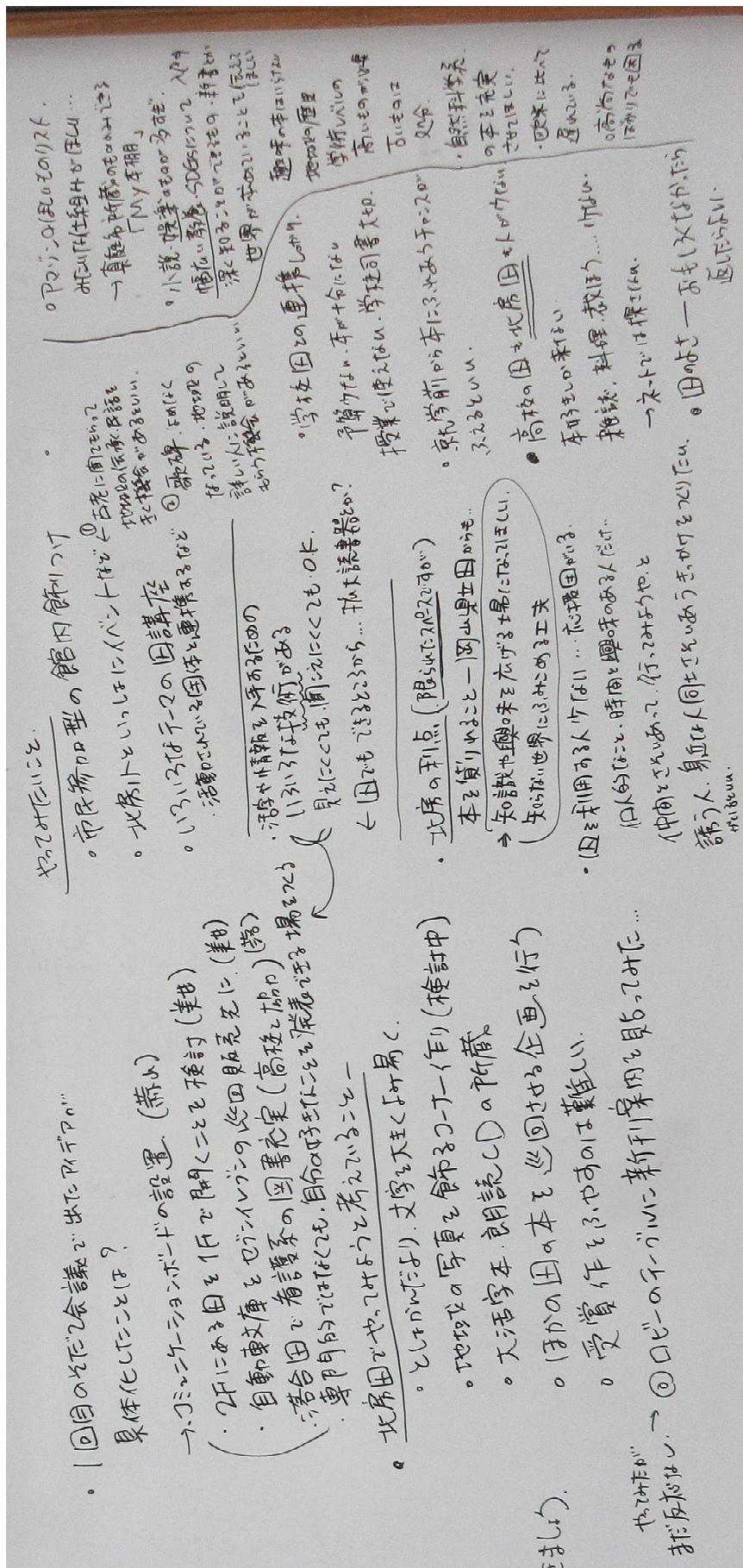
【久世図書館】



【落合図書館】



【北房図書館】



【湯原図書館】

2021年1月14日

卷之二

○(四) 目。会議の開催と運営

① 因利用案内等へ西師にて、書作印原
→ 初歩から300以上の

② 食官内の官寮リツ・カム・ヒヨウ!
→書類の模・コジネ・ト(モ)ト活用

（3）
→ 四種類の問題 一 二 三 四

④ 田畠在流域も三活用

。物語の登場人物。
もととて学校の部屋。(人+物)→物語の登場人物。
→ いいの不登場室:ある。あるいは...魔術
来年もいがい。

- 地域の方の本ははしておこう。
- 地域の資料室は、おおむねどちらの方もいい。
- 地域の資料室は、どちらの方もいい。
- 地域の資料室は、どちらの方もいい。

。大木、竹、木の材質で、古書も入荷します。
因小竹材で、古書も入荷します。
古書も入荷します。
2026.2.300年記念。◆

卷之三

69

【中央図書館】

真庭市図書館みらい計画

(真庭市図書館基本計画・子ども読書活動推進計画)

令和3年(2021)年5月

編集：真庭市立中央図書館 発行：真庭市教育委員会

真庭市勝山 53-1

電話：0867-44-2012